

会 議 録

会議の名称	第1回飯塚市新型インフルエンザ等（新型コロナウイルス感染症） 対策本部会議
開催日時	令和2年2月27日（木）9時～10時
開催場所	本庁 3階 庁議室
出席委員	別紙のとおり
欠席委員	別紙のとおり
事務局職員	別紙のとおり
会議内容	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
その他	

第1回 飯塚市新型インフルエンザ等（新型コロナウイルス感染症）対策本部会議 出席者名簿

令和2年2月27日開催

役職	職名	氏名	出欠の有無	備考
本部長	市長	片峯 誠	○	
副本部長	副市長	梶原 善充	○	
本部員	教育長	西 大輔	○	
本部員	企業管理者	石田 慎二	○	
本部員	総務部長	久世 賢治	○	
本部員	行政経営部長	藤中 道男	○	
本部員	都市施設整備推進室長	山本 雅之	欠	梶原主幹代理出席
本部員	経済部長	諸藤 幸充	○	
本部員	市民協働部長	久家 勝行	○	
本部員	市民環境部長	永岡 秀作	○	
本部員	福祉部長	實藤 和也	○	
本部員	都市建設部長	堀江 勝美	○	
本部員	議会事務局長	井桁 政則	欠	村上次長代理出席
本部員	教育部長	久原 美保	○	
本部員	企業局長	原田 一隆	○	

飯塚市新型インフルエンザ等（新型コロナウイルス感染症）対策本部 事務局

役職	職名	氏名	出欠の有無	備考
局長	健幸・スポーツ課長	瀬尾 善忠	○	
局次長	健幸・スポーツ課長補佐	吉原 寿	○	
局員	健幸・スポーツ課保健センター係長	太田 美陽	○	
局員	健幸・スポーツ課保健センター係担当	山下 貴寛	○	

発言者	内 容
進行	只今から第1回飯塚市新型インフルエンザ等対策本部会議を開催します。まず、「国内での発生状況」「市のコロナウイルス感染症に対する対策」について説明をお願いします。
事務局	資料「国内等の発生状況」「市のコロナウイルス感染症に対する対策」の説明
進行	事務局からの説明が終わりましたが、ご質問の前に先に教育部と福祉部から現状の対応について報告をお願いします。
教育部長	部活動は対外試合を控える、子ども達の健康管理を徹底する、国からのコロナ対応策の通知などを各学校に案内している。卒業式の在り方は、県は30分以内、卒業者1名だけに証書を渡し、保護者は1名に限るという制約した取り組みを示しているが、本市においては今の段階では感染症予防の取組をしながら、できる限りの式典の短縮化を進めたい。生涯学習活動は、多くの人が集まるイベントは中止、またコスモスコモンのイベントについても中止の検討をしている。生涯学習課の通年で行われる事業は、感染症予防対策をとったうえで実施する。
福祉部長	各種イベント、会議で高齢者、障がい者、乳幼児、児童が多く参加する教室、イベントは3月末まで原則中止。高齢者が少ない会議は、必要性を勘案したうえで、十分な対策をとり開催。市以外が主催者の場合、市の考えを説明し十分に協議をしたうえで、開催の場合は対策をとるように要請。福祉部関係は、次の段階では躊躇なく利用制限、閉館を行う予定。福祉関連施設の新型コロナウイルスへの対応については、国から通知が発出されていて、各施設管理者が対応することとなる。市は、施設管理者に対し、マニュアル等対策の徹底について要請している。
市長	保育所、子ども園、幼稚園、小中学校はどんな対策をとるように徹底しているのか。
教育部長	学校においては、アルコール消毒液の設置をしている。
福祉部長	保育所等は、職員のマスクの着用や手洗い、アルコール消毒液の設置をしている。発熱のある子どもには登園を自粛させるよう通知がきたため、徹底する。物の消毒は次亜塩素酸ナトリウムを薄めて行き、手指にはアルコール消毒をしている。
市長	休校、休園の前に予防対策の徹底を実施してほしい。マスクやアルコール消毒液は、市として確保する必要がある。
事務局	アルコール消毒液はなかなか手に入らない状況である。次亜塩素酸ナトリウムは問題ないが、希釈の仕方など取扱に注意する必要がある。マスクは4万枚と説明していたが、防災用のストックが7万強あったので25日

	現在で市のマスクは12万3千枚ほどある。アルコール消毒液の在庫としては、50が3本、500mlが10本程度しかない、今後も確保に尽力する。
市長	市の相談窓口を設置しているが、どれくらいの件数があるのか。
事務局	一日に4～5件の相談がある。感染したかもしれないがどうして良いか分からないという相談が多い。内容をよく確認したうえで、保健所へ連絡するように伝えている。
市長	アルコール消毒液の代替になるようなものはないか、医師会に確認してほしい。
事務局	確認する。
市長	保育園や学校に生徒を登校・登園させる以上、十分な感染症予防対策をとる必要がある。閉園とか休校についてはどう考えているか。
教育部長	県からの通知では、実際に感染者が発生したら休校措置を検討するようになっている。具体的な例は示されていない。学童が閉じたら働けなくなる親がでてくるのではないかと懸念している。
福祉部長	保育所などは閉めることは難しい。最後の手段である。
市長	どの程度で学校や保育園を休校、休園にするのかが悩ましい。国の示す感染拡大予防という観点では、すべて止める必要があるのではないか。パンデミックになればそれもやむを得ないが、そのラインが、まだ国や県の説明をみてもよくわからない。
教育長	朝、北海道では、3歳の子を預かる場所が閉園しているので職を辞する覚悟で家にいますという報道があっていた。
副市長	例えば、閉園等があった時に特別な休暇がとれるかどうか、各企業に事前調査する必要がある。
市長	ぜひそうしてほしい。イタリア北部では企業活動一切停止をする地域もある。そこまでする必要があるのか疑問ではあるが、そういうことも想定する必要はある。保育所の卒園式や小中学校の卒業式は、いろいろとシミュレーションしておいたほうがよい。代表校長会を開催して、卒業式の練習も集会に該当するからできない、簡易な卒業式をすべきである。どの程度簡易にするのかについて協議してほしい。
教育長	県の通知に準じて行う必要がある。いろいろな想定をしながらシミュレーションを行っていく。
市長	卒業式はマスクを用意してほしい。参加者はマスク着用としたい。
教育部長	学校で準備している。
市長	高齢者や高度治療の必要な人への状況把握や対応できる体制をとってほしい。
福祉部長	卒園式に関しては、子どもと保護者だけの参加にする予定である。

市長	感染拡大前であれば卒業式はきちんと実施してあげたい。ところでコロナの場合の出席停止の取扱はどうなるのか。問題は、感染した場合は出席停止になるだろうが、感染が疑わしい場合はどうなるのか、明確な基準を持つ必要がある。
教育部長	基準を検討する。
副市長	市場管理事務所は対策をとっているのか。武漢では市場から発生したという話もある。きちんと職員が現場を把握する必要がある。
進行	他にになにか、報告や質問はありませんか。
教育部長	市主催イベントの中止はどのレベルまでか、指針などがあれば判断に迷わなくていい。また、施設利用の自粛による還付はいつからか。
市長	還付は本日 27 日から 3 月 16 日まで。
事務局	コスモスコモン等指定管理者の歳入が減少することが想定されるので現状把握が必要になると思われる。
教育長	感染者が出た場合の消毒はどうするのか。
事務局	災害時と同様の対応になるのかなど協議したい。
市長	来週本部会議の必要があるかどうかは状況に応じて判断したい。
行政経営部長	予算措置が必要な場合や、繰越手続がある場合は、財政課に相談してほしい。
市民協働部長	本日のまとめとして、次のフェーズに向けて担当部署の対応を検討する、場合によっては感染者が出る可能性もあるので、その場合は本部会議を開いて対策を検討する。市主催の大規模なイベントは、本日から来月 16 日まで原則中止、人数規模の標準的基準については事務局で至急に策定する。市施設利用の見直し要請として、本日から来月 16 日まで利用料の還付、民間施設の感染対策の徹底は関係部署で要請を実施、次のフェーズに向けて市の体制の整備を事務局で作成。
事務局	市内でコロナ関連の間違った情報が流れている。市内の発生状況は市の事務局に一番に連絡が入るので、間違った情報に惑わされないように職員に情報提供してください。
事務局	状況によっては本部会議を緊急に招集する必要があるかと思う。本日の会議はこれで終了します。